

社寺清掃広がる輪

法話もあり人気

観光地、汗流し体感

依頼増える

京都検定の合格者らでつくるNPO法人「京都観光文化を考える会・都草」（京都市上京区）が社寺で続けている清掃活動が開催30回を超え、取り組みの輪を広げている。境内の作業と僧侶らの法話をセットにした内容が「観光地を肌身で感じられる」と参加者に評判で、社寺側からも清掃依頼が舞い込むようになった。（本田貴信）

NPO「都草」、開催30回超す

7月下旬、京都市上京区の千本えんま堂。「桜守の佐野藤石衛門さんが植えたみたい」。参加者のおしゃべりも盛り上がる。

清掃活動は2007年7月から「一歩踏み込んで京都の観光資源にかかわりたい」と始めた。作業後は毎回、

社寺の由縁や歴史につ

付く。秘仏を拝観し

た。いて僧侶や宮司から解説を受ける「お札」が内を巡るなどしてき

この日は、千本えんま堂の戸田妙昭住職

（68）から本堂の閻魔法王像について法話を聞いた。大阪府豊中市の主婦小松香織さん（53）は「見るだけだった場所の土に触られて、思いが深まる」と声を弾ませた。

以前は都草の側から社寺に申し出ることが多かったが、真面目な活動が実り、祭りの準備や落ち葉清掃に人手がほしい社寺から依頼が増えてきた。大学生が授業の一環で参加することもあり、担当理

次回活動は11日前10時から左京区鹿ヶ谷の大豊神社で。一般参加可。無料。問い合わせは都草☎075（451）8146。

京都や滋賀の観光に関する意見や情報をお寄せください。メールアドレスはrankou@mb.kyoto-np.co.jp



柴部の供養塔の前で、寺の僧侶とともに清掃活動に励むNPO法人のメンバーたち（京都市上京区・千本えんま堂）